

飯綱庁舎 夏の施設公開 2011 開催報告

北野 聡・横井 力

7月30日(土)、31日(日)の2日間にわたって「夏の施設公開」が開催されました。今年も夏休みに入った子どもたちに来所してもらおうべく、様々な楽しい企画を用意しました。例えば、「親子でチャレンジ・エコクイズラリー」では昨年に続いて地元観光協会から素敵な賞品をご提供いただくとともに、新たに輪投げなどのゲーム的な要素を取り入れました。また、エントランス部分にある常設の展示についてもレイアウトを見直し、親しみやすいポスター展示や空間づくりを心がけました。結局、当日の天気がぐずつき気味だったこともあって、思ったように来場者の数は増えませんでした。2日間で合計141名(うちエコクイズラリー参加者78名)の方に訪れていただきました。来場者の滞在時間は例年に比べてとても長く、まさに夏の飯綱高原をまる一日、満喫いただいたと思います。



子どもに大人気のクワガタ・カブト「虫むしコーナー」



今年も人気、研究所友の会・吉沢さんの「竹とんぼ教室」



今年は KID'S スペースも設けました

親子でチャレンジ飯綱エコクイズラリー

夏の施設公開の特別企画として7月30日、31日の両日開催されたこのイベントは、親子で野外の自然とふれあうとともに、クイズに答えて自然への理解を深めることを目的に、昨年度から長野市と共同で開催しています。

今年のプログラムは、メインのエコクイズラリーの他に、黒い箱に入ったものを手触りで当てるブラックボックスクイズ、坂道に円盤を転がし距離を競うコロコロダンゴムシゲーム、北信五岳に見立てた的に輪を投げる輪投げゲームの3つを新たに加え、昨年に増して楽しめる内容となりました。これらを順番に回っていき、高得点を目指します。



クイズラリーでお腹が減ったら「焼き火パン」をどうぞ

エコクイズラリーでは、クイズのヒントとなる付近の自然をよく観察する姿が見られました。また、エコクイズラリーの折り返し地点で「きれいな物を探してきてください」といったような「ミッション」を受け取り、自分が気になる葉っぱや花を真剣に探す姿が見られ、子ども達の自然を見る目が養われているように思えました。「ミッション」の成果は最後に参加者のみなさんに紹介させていただきました。ブラックボックスクイズでは、カモシカの頭骨やミンクの毛皮などが入っており、答えを知ったときの驚きの顔が印象的でした。コロコロダンゴムシゲームはとても人気が高く、円盤が遠くに進むにつれて歓声が上がり、とても盛り上がっていました。輪投げゲームは大人でも的に入れるのが難しかったですが、的に入ったときには大声ではしゃいでいました。

今年は共催の飯綱高原観光協会と飯綱町観光協会から豪華な賞品を提供いただき、入賞者に贈呈されました。

クイズに真剣に答えたり、ゲームではしゃぐ子ども達が多く、アンケートでも好意的な感想をたくさん頂きました。来年もより楽しんで自然を学んでいただける内容を考えたいと思います。

環境保全研究所飯綱庁舎では、市民のみなさん、もちろんお子さんにも野外に出て自然を学べるイベントや講座(自然ふれあい講座など)を行っています。是非ご参加ください。



自然をよく観察してクイズに答えます



「ブラックボックス」：恐る恐る手を入れた先にあるものは…?



大人気だったコロコロダンゴムシゲーム



「みんなのミッション」の成果を紹介しました

来場者の声

夏の施設公開に参加していただいた方の感想やご指摘の一部をご紹介します。

- ・ 天気は悪かったが楽しめた、来年も参加したい。
- ・ 去年よりも企画も内容も充実していて楽しかった。
- ・ 家族でとても楽しむことができました。普段、山を歩くことがないのでよかったです。
- ・ 初めて参加しましたが、自然のなかで楽しく活動できました。ありがとうございました。
- ・ クイズの内容をもっと難しくして下さい。
- ・ 楽しい企画でした。小学校にチラシを配布するなど広報を工夫すれば人は増えると思います。
- ・ 普段はなかなか来ることのない場所なので、良い機会をいただけたと思います。
- ・ 今年のエコクイズラリー、4つのコーナーの企画(とくにコロコロダンゴムシ)がとても良かったです。
- ・ メディアを通じて、もっと興味があるこどもたちに伝えていただければとおもいます
- ・ エコクイズの内容がとても深く、本当に良い企画だと思います。
- ・ 息子がエコクイズの後、山に行くと指をさして「あの木は何メートルだろう?」と考えるようになりました。気づきのきっかけ作りをしてくださり、ありがとうございました。ポスターもスタッフもお楽しみ企画も全て心がこもっていて楽しめました。